

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 鳥取県立智頭農林高等学校

重点項目	専門人材育成重点校	提出日	令和 5 年 4 月 19 日
------	-----------	-----	-----------------

1 学校目標	
(1) 専門教育の充実	各科の授業実践及び資格取得の取組をとおして、学びの質の向上を図る
(2) 学力向上	基礎学力の定着と授業力の向上
(3) キャリア教育	進路指導の充実と職業観・勤労観の育成
(4) こころの教育	規範意識の醸成、基本的な生活習慣の確立、家庭との連携 自己理解・他者理解に基づいた人間関係づくりの支援、自己肯定感の育成、健やかな体づくり 教育相談、特別支援教育及び人権教育のより一層の充実
(5) 地域連携の充実	地域の教育資源を活かし、本校の教育資源を地域に活かす、顔の見える地域連携、先輩から後輩へ、広報の拡大と充実
(6) 学校業務の改善	学校業務改善の取組みを進め、一人一人を大切に教育の充実を図る
2 重点項目に係る目標・成果	
目標	成果
(1) 地域の産業界や教育機関等と幅広く連携し、将来社会で求められる多様な知識・技術を習得させるとともに、専門的な資質・能力を獲得させる。専門教育の基礎・基本を徹底し、生徒自身が学習や体験をとおして意識改革を図り、さらなる学習、資格取得に向かう意欲の向上と人材育成を目指す。	・地元企業や教育機関と連携して行われた各事業は、専門的な知識や技術を学ぶ貴重な機会となっており、生徒の学習や資格取得に向かう意欲を向上させている。併せて、将来、社会で活躍するために必要となる社会人基礎力を培うことができている。
(2) 6次産業化など地域の担い手としての意識や自覚を育み、地域に貢献する人材を育成する。あわせて、多くの専門教科において学校と地域産業の連携を一層密にすることで、専門教育の深化と魅力拡大を図ると共に、本校の教育内容に合致した教育の充実を目指す。	・地域の専門的な教育資源を活用することで、より実践的な専門教育の展開が可能となり、地域の担い手としての意識や自覚が育まれている。また、専門性を活かした地元の学校への進学や就職が増え、地域に貢献する人材育成につながっている。
(3) 地域や中学校に対し、本校の特色、専門性の広報を広く行い、本校の学習内容への興味・関心の喚起を図る。	・中学生体験入学を7月に実施した。また、中学校での出前授業や学校説明会の実施等により、本校の学習内容への興味・関心の喚起につなげることができた。
<数値目標>	
(1) 本校の教育内容と関連した各種事業所等への就職者および専門性を活かした進学者の割合が30%または10名を超えるよう維持する。 (令和3年度実績 46% 19名) (令和2年度実績 29% 11名) (令和元年度実績 27% 10名)	<数値結果> ・令和4年度本校の教育内容と関連した各種事業所等への就職者及び専門性を活かした進学者は令和4年度は15名で割合は56%

<p>(2) 各学科における教育内容と関連した職業資格の合格率を上昇させる。</p> <p>(令和3年度実績 56% 72/183名) (令和2年度実績 48% 40/99名) (令和元年度実績 80% 42/52名)</p>	<p>・各学科における教育内容と関連した職業資格の合格率 令和4年度は60%、75名/126名</p>
<p>3 実施事業</p>	
<p>【独自事業】 [森林科学科]</p> <p>(1) 森林実習</p> <p>ア 事業内容 社会人講師の指導を受けながら森林の管理方法や木材の生産方法について、伐倒実習、造林実習等、林業に関する作業の一連の流れを体験させる。</p> <p>このことにより、専門教科に関する実践的な知識や技術を学ぶことができ、興味や関心を持たせるとともに林業を進路選択のひとつとして捉えることができる。</p> <p>イ 実施状況 森林科学科森林応用コース2年生を対象に、地元の若手林業家の指導のもとに学校演習林内にあるスギやヒノキの立木の伐倒及び造材実習を6回実施した。</p> <p>(2) 森林・林業交流研究発表会への参加</p> <p>ア 事業内容 森林科学科森林応用コースの3年生が授業「課題研究」で活動・研究した内容を近畿中国森林管理局が主催する森林・林業交流研究発表会にて発表し、日頃の学習の成果を披露するとともに、森林や林業に関する様々な発表を聴講することで森林や林業に関する幅広い知識を得る。</p> <p>イ 実施状況 令和4年11月に大阪で実施された森林・林業交流研究発表会にて、土砂災害などのために裸地となった演習林の斜面に植樹し、緑を回復させる取組を発表し、「審査委員長賞」を受賞した。</p> <p>[生活環境科]</p> <p>(1) 校内作庭実習</p> <p>ア 事業内容 デザインの提案から提案実践的な作庭を行う。</p> <p>イ 実施状況 生活環境科2, 3年生を対象に10月から11月上旬の期間において、作庭・校内庭園整備等を実施</p> <p>(2) 3科専門教科指導力向上（「さをり」を活用したものづくり）</p> <p>ア 事業内容</p> <p>① 「さをり」に関する教職員の知識や技術力の向上を図る。 ② 藍染めや「さをり」を使ったオリジナル作品を製作する。</p> <p>イ 具体的な事業内容実施状況</p> <p>① 教職員の技術力向上のため、手織りや作品製作に関わる技術研修を行う。また基礎編から徐々に上級編まで研修を行い技術の向上を図る。 手織り適塾さをり（大阪）から講師を招聘し、研修会を実施</p> <p>② 「さをり」のれんの作成</p> <p>[進路意識育成関係]</p> <p>(1) 進路意識を高める取組</p> <p>ア 事業内容</p> <p>① 2年生インターンシップ</p>	

② 地域の企業・学校から学ぶ

③ 1年生進路講演会

④ 1年生上級学校等見学会

イ 具体的な事業内容と実施状況

① 2年生インターンシップ

実際の職業体験を通じて進路意識を高め、主体的な職業選択能力の育成を図ることを目的とし、第2学年生徒（3クラス）34名を対象に、29の事業所で5日間実施

② 地域の企業から学ぶ（智頭町内の企業との連携）

地元産業や職業に対する理解を深め、地域産業を担う生徒の育成を目的とし、全校生徒を対象に智頭町内企業に加えて東部地区の企業24社と、東部消防、自衛隊をあわせた計26社による説明会を実施（3年生に加え、希望する1、2年生も参加）

③ 地域の学校を知る

公立鳥取環境大学、鳥取短期大学、社会福祉専門学校等6校との説明会を実施

④ 1年生進路講演会「先輩から後輩へ」

若い同窓生を講師として実施

⑤ 1年生上級学校等見学会

1年生から進学に向けての取り組みを行う意識を高めることを目的とし、1年全員（3クラス）を対象とした上級学校等の見学会を実施

内容：各科の学習内容を深化させた学習ができる上級学校等の見学

ふるさと創造科…鳥取県立農業高等学校、鳥取短期大学

森林科学科 …鳥取県立産業人材育成センター、鳥取短期大学

生活環境科 …鳥取県立産業人材育成センター、鳥取短期大学

(2) デュアルシステム

ア 事業内容

森林科学科の生徒で、将来関連産業への就職や進学を希望している生徒を対象に、夏季休業中期間中に森林組合など関連産業にて就業体験を行い、実践的な態度や技術を身に付けさせる。

イ 実施状況

夏季休業期間中に、森林科学科森林応用コース3年生の生徒3名が八頭中央森林組合と智頭町森林組合にて就業体験を実施した。また、森林科学科木材加工コース2年生の生徒1名は智頭町森林組合にて就業体験を実施した。就業体験を実施した3年生の3名は、林業事業体、森林組合、森林高等学校に就職及び進学をしている。

4 総合所見（成果・評価）

「専門人材育成」に係る取組では、専門的かつ実践的な知識と技術を身に付けることができ、必要とされる態度の育成や学習意欲の向上にも大きく成果が見られた。本年度も新型コロナウイルス感染の影響はあったものの各科の工夫と各関係団体の御協力により、成果の見られる事業が多く実施された。専門人材育成を目的とした専門教育の充実のためには、地域の産業界や教育機関等との連携は欠かすことができない。あわせて、専門的な知識・技術に直接触れることで、生徒の主体的・対話的で深い学びを実現できる。本校の教育内容と関連する就職・進学を希望する生徒が増加する中、専門的な人材育成において本事業の事業継続は必須であると考えられる。

※枚数任意